

平成27年度 行政評価委員会評価表

事業名	図書館ボランティア育成事業	担当部	教育委員会事務局
		担当課	中央図書館

基本情報

概要	図書館では、乳幼児から高齢者、障害がある方など、誰もが本に親しめる環境を整備することを目的に、図書館ボランティアを育成している。そのため、講習会や講座を開催し、ボランティアの資質向上とボランティア人数の拡大を図っている。 講習会等を受講したボランティアについては、区の共催事業への参加や、ボランティア団体への入会を促して、ボランティア活動へつなげ、区民の読書活動の啓発に努めている。
----	--

活動内容	読み聞かせボランティア講座、パソコンを使った絵本づくりボランティア講座、ブックスタート公開講習会、音訳・点訳ボランティア養成講座等を開催し、様々なボランティア育成に取り組んでいる。 中央図書館の開館に伴い、平成21年6月にボランティア団体「葛飾図書館友の会」が発足した。「葛飾図書館友の会」は、図書館でのボランティア活動や学習会・交流会などを通じて、図書館がいつも区民のための場であるよう守り育て、また会員が生涯学習の場として共に学ぶことを目的として活動している。 ※ボランティア育成に係る経費は、複数の事業経費にまたがり計上している。経費名とそこに係る事業は下記のとおり。 (別紙参照のこと) ①「図書館ボランティア育成事業経費」：点訳・音訳ボランティア養成に係る経費と「葛飾図書館友の会」が主催する講演会の経費を計上。 ②「読書活動啓発事業経費」：読み聞かせボランティア、パソコンを使った絵本づくりボランティア養成に係る経費を計上。 ③「子ども読書活動推進経費」：ブックスタートボランティア養成に係る経費を計上。
------	--

施策番号	2102	施策	多様な手段で、図書サービスを受けられるようにします
事業の目的	乳幼児から高齢者や障害がある方など、様々なニーズに対してサービスを行えるよう、ボランティアを養成する。		

実績情報

成果指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	目標
	ボランティア登録数	区立図書館にボランティア登録している数	人	目標	275	320	320		
			実績	315	305	356			
ボランティア育成講座参加者数	講座参加者の延べ人数	人	目標	450	470	400	450		
			実績	458	476	474			

実績の評価・分析
多様な分野の図書館ボランティアを養成しているが、中でも大きく比重を占めているのは、「読み聞かせボランティア」(子どもやその親を対象)「音訳・点訳ボランティア」(視覚や聴覚に障がいを持つ方を対象)の2つである。「図書館友の会」(図書館への協力や講演会、また行事の企画等広く利用者向けに活動を展開)は、養成は行わずに図書館をもっとより良くしたいと願う方々のボランティア団体である。
ボランティアの登録者数は、平成25年度に減少が見られたが、26年度には51名増加しており、内訳としては、特に読み聞かせボランティア、音訳ボランティアの登録者数が増加している。
ボランティア育成講座の参加者数については、ほぼ横ばいで推移している。今後も、ボランティア育成を継続しながら、活動の場の情報提供も進めていく必要があると考える。



活動指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	目標
	図書館ボランティア活動回数	ボランティアとして活動した回数(延べ回数)	回	目標	800	1,700	1,600		
			実績	1,546	1,355	1,561			
			目標	—	—	—	—		
			実績	—	—	—	—		
			目標	—	—	—	—		
			実績	—	—	—	—		

方向性

評価してもらいたい点 ①あり方 ②課題	① 区民の読書活動を啓発していくために、図書館ボランティアの活躍は大きいものであり、図書館ボランティアの育成にあたっては、様々なニーズに応えられるよう、効果的に行っていかなければならない。 図書館では、現在行っている読み聞かせ等のボランティアの養成や、新たな図書館サービスとして、来館が困難な利用者への宅配ボランティアの養成についても必要なものと考えている。 今後のボランティア養成にあたり、既存のボランティア養成・活用方法と新たな宅配ボランティアの養成について、行政評価委員の意見を取り入れ、様々な利用者が、より読書活動が進められるように検討していきたい。
所管課評価による方向性	拡充 ●ボランティアの育成を継続し、図書館等を支えるボランティア活動を支援するとともに、活動機会の充実に努める。 ●ボランティア活動を活性化していくために、ボランティア連絡会の開催等によって、個人で活動するボランティアが横の繋がりを深める仕組みづくりを検討する。 ●元気な高齢者がこれまで培ってきたスキルを活かせるように、図書館での新たなボランティア活動への参加促進を図る仕組みづくりに取り組んでいく。 ●新たにサービスを充実する宅配ボランティアについては、来館が困難な方等への利用をこれまで以上に促進するために、シニア世代など、ボランティア活動を希望する方への活動機会のPRを図り、養成の仕組みづくりについて検討し、早期の宅配事業の実施を目指していく。

項目	単位	25年度	26年度	コストの主な内訳
収入	特定財源			
	国庫支出金	千円	0	0
	都道府県支出金	千円	0	0
	その他	千円	0	0
一般財源 (a)	千円	8,266	8,128	

事業費	直接事業費 (b)	千円	466	228	
	報償費	千円	206	205	点訳ボランティア育成講座講師謝礼 (H25音訳、H26点訳) 葛飾図書館友の会講演会講師謝礼
	食糧費	千円	13	13	ボランティア用お茶 (ペットボトル500ml) 等
	筆耕翻訳料	千円	9	10	葛飾図書館友の会主催特別講演会の開催に伴う手話通訳の派遣
	委託料	千円	238	0	
		千円			
		千円			
人件費等	職員人件費 (c)	千円	7,800	7,900	
	人件費	千円	7,800	7,900	
		人	1.00	1.00	
	再雇用職員	千円			
		人	0.00	0.00	
	間接費 (d)	千円	0	0	
	調整額 (e)	千円	950	200	
	千円				
	減価償却費	千円			
	金利	千円			
	退職給与引当	千円	950	200	
	(控)コスト対象外	千円			
トータルコスト (f)	千円	9,216	8,328		

単位あたりコスト	項目	単位	25年度	26年度	コスト増減の理由 隔年で委託実施する講習会あり。26年度は未実施による減。
	単位の定義	ボランティアとして活動回数			
	実績数値 (g)	回	1,355	1,561	
	単位あたり区単コスト (a/g)	円	6,100	5,207	
	単位あたりコスト (f/g)	円	6,801	5,335	

図書館ボランティア育成に係る経費一覧

□部分は、今年度の行政評価委員会対象事業経費。

【図書館管理運営経費】

単位:円

細事項 / 支出科目	25年度	26年度	備考
① 図書館ボランティア育成事業経費	465,710	227,281	
報償費	205,700	205,000	
(内訳) 音訳・点訳ボランティア講座	175,700	175,000	
友の会講演会講師謝礼	30,000	30,000	
食糧費	12,570	12,881	
(内訳) ボランティア用お茶	12,570	12,881	
筆耕翻訳料	9,400	9,400	
(内訳) 友の会主催講演会手話通訳	9,400	9,400	
委託料	238,040	0	
(内訳) マルチメディアデイジー作成ボランティア講習会委託	238,040	0	隔年実施のため 26年度は未実施
② 読書活動啓発事業経費	301,764	302,780	
報償費	238,000	268,000	
(内訳) 読み聞かせボランティア講座	84,000	84,000	
手づくり絵本講座等	154,000	184,000	
消耗品費	63,764	34,780	
(内訳) 手づくり絵本教室用 (インクジェットプリンタ・インクカートリッジ・ プリンタ用紙他)	63,764	34,780	
③ 子ども読書活動推進経費	60,000	69,600	
●ブックスタート事業経費	60,000	69,600	
報償費	60,000	69,600	
(内訳) ブックスタートボランティア研修講師謝礼	60,000	69,600	
①+②+③の合計額	827,474	599,661	

図書館ボランティア育成講座実績

No	年度	講座名	講座内容	ボランティアの活動内容	平成25年度			平成26年度		
					定員	応募者数	受講者数	定員	応募者数	受講者数
1	25・26	読み聞かせボランティア講座（初級） 【全4回】毎年実施	幼稚園・保育園・小学校などで読み聞かせを始めたばかりの方、又はボランティアをする予定のある方を対象に、子どもの読書活動を推進するボランティアを育成及び支援するため、読み聞かせ講座を開催している。	図書館で活動する方には、乳幼児から小学生までのお子さんを対象に定期的に行われているおはなし会などで、わらべうたを歌ったり絵本の読み聞かせの活動をしていただく。希望者には、ブックスタート事業についても協力を得ている。	25	38	84	25	22	70
2	25・26	読み聞かせボランティア講座（中級） 【全4回】隔年で実施	「読み聞かせボランティア」として継続して活動している方を対象（読み聞かせボランティア経験が2年以上ある方）に、読み聞かせやおはなし等の技術の向上を図り、子どもの読書活動を推進するボランティアを育成及び支援するための講座を開催している。	図書館で活動する方には、小学生までのお子さんを対象に定期的に行われているおはなし会などで、わらべうたを歌ったり絵本の読み聞かせの活動をしていただく。	—	—	—	25	11	37
3	25・26	読み聞かせボランティア講座（乳幼児編） 【全4回】隔年で実施 ※26年度は実績なし	「ブックスタート」や「おひざにだっこのおはなし会」で活動するボランティア育成及び支援のため読み聞かせ講座を開催している。	ブックスタート事業への協力や、0～3歳までのお子さんと保護者の方を対象にわらべ歌などを取り入れながら絵本の読み聞かせを行う「おひざにだっこのおはなし会」で活動していただく。	25	31	97	—	—	—
4	25・26	パソコンを使った絵本づくりボランティア養成講座 【全3回】（隔年実施） ※26年度は実施なし	中央図書館において夏休みに開催する「パソコンを使った親子手づくり絵本教室」で、ボランティアとして活動していただける方を対象に、絵本作成ソフトの操作方法を学ぶ講座を開催している。	「パソコンを使った親子手づくり絵本教室」【全5回】（毎年実施）を指導しているボランティアサークル「エガクサークル葛飾」とともに、講座開催の準備や講座の指導をしていただく。また、ボランティアサークルに加入して、パソコンソフトや絵本について学習していただく。	17	18	45	—	—	—
5	25・26	学校図書館ボランティア講座・研修	学校で読み聞かせをしているボランティアを対象に、「読み聞かせボランティア講座」（初級）の資料を基に講習会を行う。（25年度4回、26年度7回実施）	学校で読み聞かせを行う。	—	—	67	—	—	123
6	25・26	「ブックスタート公開講演会」 【1回】毎年実施 ※ブックスタート事業とは、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動のこと。	ブックスタートボランティアと一般の方を対象に、子どもの育ちと読書についての講演会を実施している。講演会終了後、新たにブックスタートボランティアを養成するための説明会やブックスタートボランティアのフォローアップ交流会を実施している。	保健センター等での3～4か月健診の際、図書館職員とともに「ブックスタートパック」（絵本1冊・図書館案内等）を手渡し、保護者にブックスタートの意義を説明しながら、親子に指定の絵本の読み聞かせを行う。	80	—	53	80	—	60
7	25	音訳ボランティア養成講座【前期】 【全4回】隔年実施	図書館で音訳ボランティアの活動をしている方を対象とし、技術の向上を図り、様々な資料を音訳できる方を養成するための講座を実施している。	「葛飾音訳ボランティアの会」にボランティア登録し、図書館と連携しながら活動していく。具体的な活動としては、ハンディキャップサービス利用者への対面朗読、音訳資料の作成、「障害者週間関連展示」等の図書館イベントでの協力等がある。	20	23	102	—	—	—
8	25	音訳ボランティア養成講座【後期】 【全2回】隔年実施	音訳ボランティアの活動を3年程度経験された方を対象に、音訳技術の向上を図るための講座を実施している。		20	28	28	—	—	—
9	26	点訳ボランティア養成講座【前期】 【全12回】	図書館で点訳ボランティアの活動をしている方を対象とし、技術の向上を図り、様々な資料を点訳できる方を養成するための講座を開催している。	ボランティアグループ「かつしか点訳の会」や「点字グループ・アイ」にボランティア登録し、図書館と連携しながら活動していく。具体的な活動としては、ハンディキャップサービス利用者への点訳資料や点訳絵本の作成、「障害者週間関連展示」等の図書館イベントでの協力等がある。	—	—	—	30	24	161
10	26	点訳ボランティア養成講座【後期】 【全2回】	点訳ボランティアの活動を一定程度経験された方を対象に、点訳作成技術の向上を図るための講座を実施している。		—	—	—	20	23	23
					合計		476	合計		474

宅配サービスのお知らせ

葛飾区立図書館では、心身の障がいや高齢・病気のため、図書館を利用したくても来館が困難な方に図書館の資料を無料でお届けし回収にうかがう宅配サービスをおこなっています。



《利用回数・宅配点数と貸出期間》

★利用回数は月に1回

図書・雑誌 5冊まで 1か月以内
(葛飾区外の図書館から借りた資料は2週間以内)

CD 8点まで 1か月以内

DVD 1点まで 2週間以内

《宅配担当地域》

中央図書館	新宿・柴又・金町・東金町・金町浄水場
立石図書館	立石・東立石・四つ木・東四つ木
お花茶屋図書館	お花茶屋・堀切・東堀切・宝町・小菅
上小松図書館	新小岩・東新小岩・西新小岩・奥戸
亀有図書館	亀有・西亀有・青戸・白鳥
水元図書館	水元・東水元・西水元・南水元・水元公園
鎌倉図書館	鎌倉・高砂・細田



《対象の方》

区内在住か区内施設に入所されていて、心身の障がい・高齢・病気のため来館ができない方。

※お申込みが各担当館の宅配サービスの定員に達した場合、すぐにサービスを受けられないことがあります。

※施設や病院のご協力が得られない場合、ご利用になれない場合もございます。

※葛飾区立図書館の利用登録が必要です。登録の際には本人確認の証明書等をご提示いただきます。

《お問い合わせ》 葛飾区立中央図書館 TEL 3607-9201

宅配ボランティアの養成について

1 経緯

葛飾区基本計画においては、「多様な手段で、図書サービスを受けられようにします」と施策目標に掲げています。

また、平成26年12月に策定した「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」においては、図書館を支える継続的なボランティア活動を支援し、活動機会の充実に努め、各種講座の開催などを通して、ボランティアの養成に取り組むことを重点的事業としています。

このことから、図書館内の専門部会にあるハンディキャップサービス委員会では、他自治体の状況を調査し、宅配ボランティアを先進的に取り組んでいる調布市立図書館を平成26年度に視察するなど、宅配ボランティアの導入の検討を進めているところです。

2 葛飾区立図書館における宅配の現状

	平成26年度	平成25年度	平成24年度
登録者数	28名	22名	23名
宅配件数	182件	215件	196件
宅配冊数	1,380冊	1,226冊	1,214冊

3 調布市立図書館の取組み

- 2001年（平成13年）よりサービスを開始している。
- 宅配ボランティアとなれるのは、図書館ボランティアに応募した市民で中学生以上の宅配に協力できる人である。
- 報償は、無償である。
- 登録期間は、登録年度の年度末までとし、1年ごとの更新とする。
- 図書館では、ボランティアを開始するにあたって、説明会を開催する。
- 運搬法は、原則徒歩または自転車を使用する。
- 宅配時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。
- 図書館ボランティアは、公費負担のボランティア保険に加入する。
- できるだけ多くの機会を捉えて、宅配サービスのPRに努める。

4 先進取組自治体との比較表

	葛飾区	調布市
登録者数	28名	168名
宅配件数	182件	1,303件
利用要件	区内在住	市内在住
対象者	○心身の障がい・高齢・病気のため来館が困難な方	○身体障がい・知的障がい・精神障がいのある方 ○高齢または病気で一時的にも来館できない方 ○自宅で常時介護している方 ○出産前後の方 ○市内の病院に長期入院中の方
宅配者	図書館職員	図書館職員、嘱託員、宅配ボランティア
利用回数	月1回	制限なし
貸出期間	1ヵ月以内（DVDは2週間以内）	2週間以内（CD・ビデオは1週間以内）
宅配点数	図書資料5冊、CD・カセット8点、DVD1点	図書・雑誌20冊、CD・ビデオは3点

※平成26年度実績

5 課題

- 費用対効果はあるか
- 対象者をどこまで拡大するか
- ボランティア募集のPR方法をどうするか
- 対象者への個人情報の管理方法をどうするか
- 仕組みづくりの構築をどう行うか（ボランティア希望者の居住確認の有無・ボランティア養成講座の開催内容）
- 無償ボランティアとするか有償ボランティアとするか

施策 02 多様な手段で、図書サービスを受けられるようにします

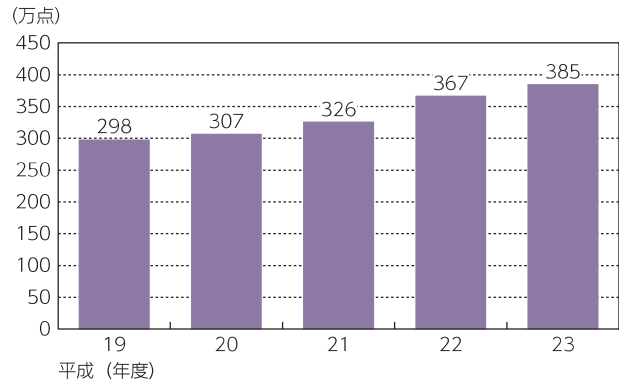
【施策を取り巻く現状と課題】

- 平成21年、新たに金町駅前に中央図書館を開設しました。その他、地域図書館6館、中央図書館の分館として地区図書館4館、新宿図書センターを設置しています。
- 幼児期からの読書の習慣づけや、読書離れが進む中高生への啓発、ビジネス・医療・健康・福祉等の区民の課題解決に役立つ情報の提供、電子書籍等のデジタル資料への対応が課題となっています。

【施策の方向】

- 地域経済の活性化につながる高度で専門的な情報の提供や郷土愛を育むための地域関連資料の収集・保存、所蔵資料のデジタル化、電子書籍の導入検討などを進めるとともに、レファレンスサービスの充実やICTを活用したサービスの効率的な提供など、図書館サービスのより一層の充実と区民の利便性を高めます。
- 乳幼児期から高齢期までのすべての世代の読書環境を整備し、各年代に応じて読書に親しむことができる機会を増やします。また、地域で子どもの読書活動の推進を担うボランティアの育成や幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校等との連携を進めます。

区立図書館の図書・資料年間貸出点数



出典：中央図書館資料（図書・雑誌・CD・カセット・ビデオ）



絵本の読み聞かせ会

【指標と目標値】

指 標	指標の説明又は出典	現 状 値 (平成23年度)	平成27年度	平成30年度	平成34年度
最近1年間に葛飾区内の図書サービスを利用したことのある区民の割合 (%)	政策・施策マーケティング調査	32.5	38.0	39.0	40.0

【計画事業】

事 業 名	事 業 内 容
地区図書館の整備	中央図書館、地域図書館から比較的離れた地域に地区図書館を整備します。なお整備にあたっては、学校などの既存施設を活用します。

〈事業一覧〉 (平成24年度実施)

読書活動啓発事業	オンラインサービス (ICTを活用した図書館サービス)
子ども読書活動推進	図書館業務委託 (中央図書館カウンター業務)
図書館ボランティア育成事業	図書資料等提供
図書館報等印刷	図書館維持管理